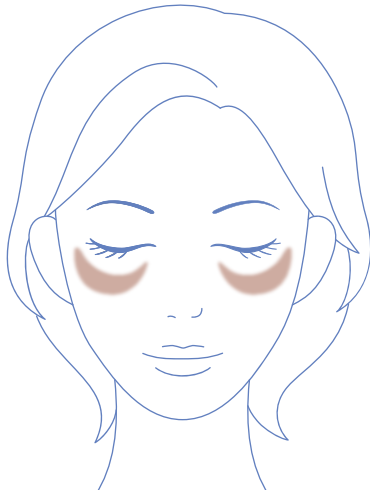


かんぱん

肝斑

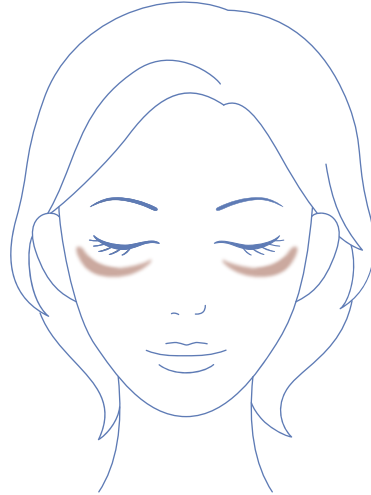
ほほ骨に沿って
左右対称に出る
薄褐色のシミ

肝斑は、特にほほ骨のあたり、
ときには額、口の周辺に左右対称に生じます。
目の周囲にはできず、色が抜けたように見える点が特徴的です。



**もやっと広がった
蝶々タイプ**

ほほ骨から下の方にかけて、両側にも
もやっと広がったタイプ。面積が広く顔色
全体がくすんで見えることも。日光黒子
(老人性色素斑) など色の濃いシミの下
に、こんな肝斑が薄く広がっている場
合もあります。



**ほほ骨に沿って
筆で描いたようなタイプ**

ほほ骨に沿って、左右対称に筆で描い
たようなシミ。ほほには別の種類のシミ
が広がっていることもあります。



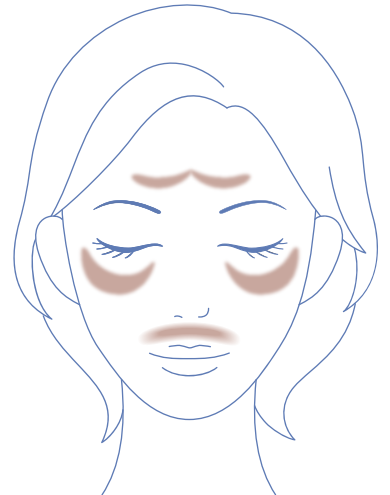
**目尻の下あたりに小さく広がったタイプの
【チビ肝斑 (かんぱん)】**

ほほ骨から目尻の下あたりに、左右対
称に小さく広がったシミ。または、こめ
かみ近くに小さく広がったシミ。いわゆ
る「チビ肝斑」です。



**左右対称だが
大きさ・位置が違うタイプ**

ほほ骨に沿って左右対称だけれど、大
きさが違ったり、また片方が目尻の方
に広がるなど、位置が少し違うケー
スもあります。



**顔や口の周りにも
出るタイプ**

ほほ骨に沿って左右対称に広がるだけ
でなく、額中央、あるいは口の周りな
ども出ている場合があります。